



## ～ 「尻すべり」って楽しいね ～

2月25日に行われた子ども体験教室「おぐにの冬遊び」。子どもたちは、県社山に登り、雪上に残る動物の足跡や、木々の芽を観察したほか、山の斜面の「尻すべり」にも挑戦し、雪国ならではの活動を思いっきり楽しんでいました。

住み慣れた地域で

安心して生活していくために

# 小国町立病院における 在宅医療と 医療連携の取り組み

2年に1度改定されている診療報酬が、平成24年度改定されることになり、その大きな柱のひとつに「在宅医療の拡充と医療・介護の連携」が掲げられています。その背景には、自宅でのみとりや緊急時・夜間の往診などへの国民のニーズの高まりがあります。小国町立病院では、社会環境の変化に対応しながら、経営の効率化はもとより、全国に先駆けて訪問看護を実施し、在宅医療の充実化を図るとともに、公立置賜総合病院などの病院との医療連携を進めてきています。そこで今月は、町立病院の在宅医療の中核である訪問看護ステーションや、情報通信技術を活用した医療連携の取り組みについて紹介します。

## 高齢化の進行

町が住民基本台帳をもとにして算出した本町の高齢化率（総人口に占める65歳以上の高齢者の割合）は、平成16年に30%を超え、平成23年には33.0%となっており、年々高齢化が進ん

### ◇要介護認定者数等の推移（町健康福祉課調べ）

	H16	H18	H20	H22	H23
要介護認定者数(人)	432	488	528	556	570
高齢化率(%)	30.1	31.7	32.6	33.3	33.0
高齢者のみ世帯(世帯数)	368	418	388	361	382
一人暮らし高齢者世帯(世帯数)	289	328	304	349	341
世帯数	3,282	3,242	3,231	3,221	3,222

※基準日 各年4月1日現在

でいます。

また、高齢化に伴い、家事や身仕度など日常生活を送る上で支援が必要となるかたや、常に介護が必要なかたなど、介護保険制度上で「要支援」や「要介護」に認定されるかたも増加傾向にあります。さらに、高齢者のみの世帯や一人暮らし高齢者世帯の割合も高くなっています。

## 体制を充実化 訪問看護ステーション

小国町は、広大な面積を有し、広範囲に集落が散在しています。また、全国有数の豪雪地帯であるため、冬季は交通条件が制約され、町中心部までの移動に30分以上の時間を要することもあります。このため、町では、平成10年度から訪問看護ステーションを開設し、在宅医療を展開しています。設立時は看護師2人、保健師1人という体制でした。



が、対象者の増加に対応しながら、年々体制の強化を図ってきており、平成23年度は、看護師7人（内ケアマネジャー兼務6人）、専任ケアマネジャー3人、作業療法士1人が業務を行っています。



訪問看護ステーション  
渡部つや子看護次長

「高齢化の進行などに伴い、住み慣れた地域で、落ち着いた環境で安心して療養生活を送りたいと、在宅医療のニーズが高まっています。現在、在宅で療養中だけでも体が不自由で通院が難しいかたなど約120人が、訪問看護サービスを利用していています。在宅の場合、患者さんは、私たちが訪問

する以外の多くの時間は、家族と過ごすことになります。患者さんに対する血圧測定など病状の管理や、服薬指導だけでなく、回復のために必要なことを家族と相談し、指導することも大切な仕事です。また、がん患者さんの痛みを和らげ、住み慣れた家で穏やかに生活できるよう支援も行っています。

平成23年度からは、新たに訪問リハビリも開始しています。患者さんの自宅でもリハビリを行うことは、暮らし慣れた場所で、自立して生活していくための効果的な訓練になります。加えて、訪問看護ステーションは、居宅介護支援事業所も兼ねています。このため、利用者の病状や生活状況などを考えて、必要なサービスを紹介できる機能もあります。訪問看護ステーションのサービスを利用したいとお考えのかたは、お気軽に相談してください。」

佐藤ヨシさん（足水中里）は、夫の祐吉さんと二人暮



看護師から服薬の指導を受ける佐藤祐吉さん(左)と佐藤ヨシさん(中央)

らしです。ヨシさんは、病後の後遺症で体が不自由です。夫の祐吉さんは自動車運転しないため、通院するには、町営バスを利用するしかありません。このため、平成10年から町の訪問看護サービスを利用しています。

訪問した看護師は、「体調はどうですか？」と笑顔で語りかけ、血圧を測定したり、塗り薬の使い方などを説明します。また、家族と一緒に、日々の生活や健康

上の相談にも乗っています。

ヨシさんは、「定期的に見護師さんが来て、薬のことや、体調管理のことで相談に乗ってもらい、とても助かっています。看護師さんが来る日は、楽しみに待っています。」と話してくれました。また、夫の祐吉さんは、「現在は、医師の往診も含めて、月2回訪問してもらっています。通院が困難なので、こうしたサービスは特にありがたいと感じています。」と話してくれました。

### 情報通信技術で

### 医療連携を

### さらにスムーズに

町立病院では、在宅医療の充実に加え、平成21年3月に、経営の効率化や再編・ネットワーク化などを盛り込んだ病院改革プランを策定しました。

この中で、公立置賜総合病院など他の医療機関との

連携の在り方を明らかにし、効果的な体制づくりを段階的に進めてきています。

平成23年度から始めた取り組みとしては、町立病院と山形大学医学部を専用の回線で結ぶことにより、町立病院で撮影したCTスキャンなどの画像の分析、診断結果が瞬時に送受信できるようになりました。これによって、以前は画像の診断結果が分かるまでに2週間程度の時間がかかっていましたが、現在は2日間程度に短縮されています。

置賜地域の医療機関等で組織された置賜地域医療情報ネットワーク協議会が展開している事業に「OKIINET（おきーねっと）」があります。これは、患者さんの同意を得たうえで、検査結果などの情報を電子化し、他の医療機関で共有する仕組みです。これによって、患者さんが、他の病院で受けた検査の結果を、インターネット上で、瞬時に確認できるようになっています。



進む医療情報の電子化

町立病院では、平成23年10月から「OKIINET（おきーねっと）」を活用しています。現在のところ、共有可能な情報は、画像情報のみですが、今後、連携を進めていくためには、血液検査など他の検査結果や、処方されている薬の情報なども電子化していく必要があります。このため、町立病院では、必要機器の更新を行い、4月1日から電子カルテの運用を開始することとしました。

電子カルテとは、通常は紙媒体で管理している診療

## 訪問看護サービスを利用したいかたは？

かかりつけ医の指示を受け、自宅で療養されているかたや、介護されているかたが、住み慣れた自宅で安心して、さらに豊かに過ごされるように、看護師がお宅にうかがいお手伝いします。

### 【対応内容】

医療相談、実際の介護・看護とその方法の指導、療養環境整備などの相談、医師の指示の医療処置、福祉制度利用のお手伝いなど

### 【申込方法】

介護保険認定済みのかたで、かかりつけ医と相談のうえ申し込みください。介護保険認定を受けていないかたでもご相談ください。

### 【申込・問合せ】

地域包括支援センター（61-1001）、訪問看護ステーション（61-1002）へ

## さらなる充実化を図る 在宅医療と医療連携

こうした訪問看護、医療

の記録を、パソコンなどを用いて電子化したものです。電子化された情報はインターネット回線を通じて、他の医療機関と共有できるようにになります。



町立病院  
阿部吉弘院長

連携の取り組みについて、町立病院阿部吉弘院長にお話しを伺いました。  
「小国町の訪問看護サービスについては、人口割で利用状況をみると、全

国的に高い利用率といえます。在宅医療の充実化が叫ばれているなかで、全国に先駆けて取り組んできたものといえるでしょう。

電子カルテを活用した医療連携の一例を考えてみます。救急搬送で町立病院に運ばれてくる患者さんの中には、脳卒中で手術が必要と診断されるかたもいます。このケースでは、公立置賜総合病院に搬送されることとなります。

こうした場合、これまで、町立病院での血液検査等の結果はFAXで送信したり、レントゲン写真は救急車で持参したりしていましたが、インターネット回線を利用して情報を共有化することによって、患者さんが公立置賜総合病院に着する前に、搬送先で検査結果などを確認できるようになります。これは迅速な処置につながります。

また、公立置賜総合病院から町立病院に転院してくる場合などにも、町立病院側で随時、公立置賜総合病

院で受けた検査結果などを確認することができるようになるため、よりスムーズな転院が可能となります。

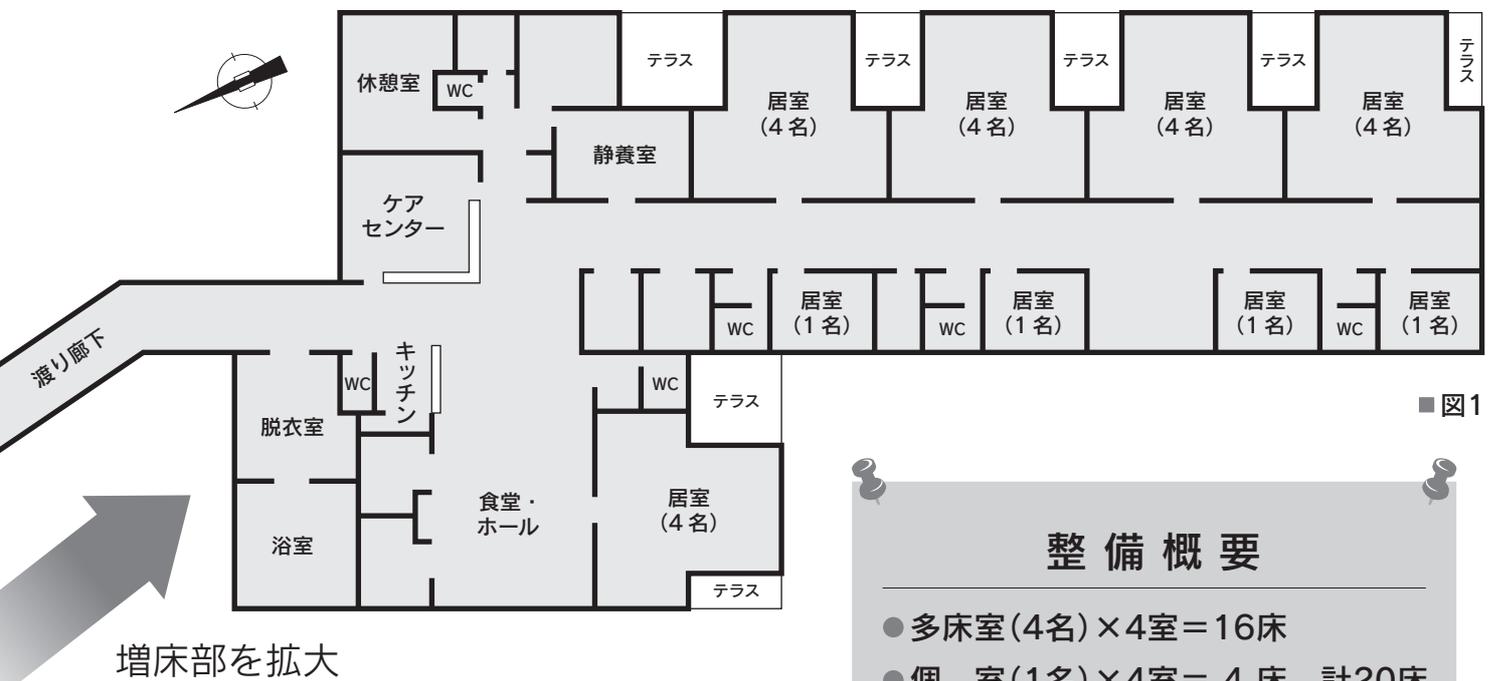
このような情報通信技術を活用した医療情報の共有は、米沢市立病院や三友堂病院との間でもできるようになり、将来的には、訪問看護など在宅医療という面での活用も期待されます。

医療においては、医師や看護師などが患者さんに触れて、患者さんの治ろうとする力を生かしたり、不安をなくしたりということが一番大切です。情報通信技術を活用しながらも、こうした医療の基本が、町立病院、そして全町内に行き渡るよう充実させていきたいと考えています。」

町では、きめ細かい医療サービスの提供により、皆さんが、住み慣れた地域で安心して生活できるように、今後も引き続き、社会環境の変化に対応しながら、効果的・効果的な医療体制の充実に取り組んでいきます。

# に向けて 20床増床

# 4月1日 オープン



## 整備概要

- 多床室(4名) × 4室 = 16床
- 個室(1名) × 4室 = 4床 計20床

※増築のため、既存施設を取り壊したことによる代替施設として、多床室(4名) 1室を整備しています。

特別養護老人ホーム「さいわい荘」の増床工事が年度内に終了し、4月1日に開所することになりました。

特別養護老人ホームは、身体や精神上の障がいのため介護が必要で、介護保険制度で「要介護」と判定されたお年寄りが、食事や入浴など日常生活の介助を受けながら生活する場所です。

さいわい荘では、高齢化の進行やひとり暮らし高齢者の増加などの要因によって、入所希望者が増加傾向にあり、平成21年度には約80人の入所待機者がいるとされてきました。こうしたことから、同施設を運営している小国福祉会では、待機者の解消を図るため、平成23年度に20床の増床を行うこととしました。

町としても、待機者の解消のため、建設費の一部を

# 緑のふるさと 協力隊便り

シリーズ  
10

## 連日の雪と寒さを経験して

めぐみ  
中島 萌

小国に来て、この冬が私にとって1番の峠でした。毎日のように降り続く雪。雪。雪。「ヘンクサ(カメムシ)が多いと雪が多い」と言われる中、昨年の秋はヘンクサが大量発生しました。皆さんが言っていたことは事実だと、言い伝えの凄さを感じました。

あたり一面がすっぽりと雪に覆われて、ここはどんな景色だったか思い出せないほどの雪壁になってしまいました。また、生まれてからこんなに太陽を恋しいと思ったことはなく、太陽のありがたさを心から感じました。

今年は例年以上に寒いそうですが、コンロに置いていた鍋の水が凍っていたり、水を出しておいた蛇口から「つらら」ができていたり、その寒さにも驚きました。

雪から家を守る大変さや、毎日の除雪、車の運転と経験してみなければ分からなかったことばかりでした。百聞は一見にしかず。雪国で生きる人々の力強さに心から敬意を表します。3月で

1年間の活動が終了となります。皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。



### 隊員活動発表会を開催します

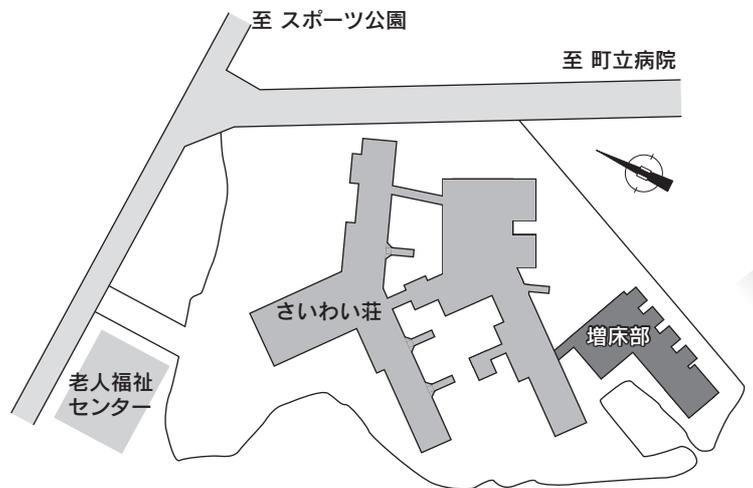
本年度の協力隊員2名が、活動内容の発表を行います。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

- 3月12日(月) 18時～  
白沼小中学校
- 3月13日(火) 18時～  
玉川高齢者コミュニティセンター

# 待機者の解消 「さいわい荘」

## 内覧会を開催します

- 日時 3月29日(木)  
10:00～15:00
- 場所 さいわい荘  
(正面入口からお入りください)
- 問合せ さいわい荘(62-3821)へ



支援することとして、平成23年8月から工事が進められてきました。増築する棟は、さいわい荘の南側に面しており、図1のとおりです。さいわい荘の川崎博道荘長は「増床により計100床の施設となりますが、職員の体制を充実させて、入所者が、より安心して生活できる施設にしていきたい」と話してくれました。

シリーズ 防災・減災を考える⑪

# 引き続き雪害にご注意ください



## 「平成18年豪雪」を超える積雪を観測

厳しい寒さと大雪に見舞われた日本列島。小国町においても、2月4日に山形地方気象台小国観測所（大宮）で247センチメートル、2月10日に東北水力地熱（株）長者原発電所で450センチメートルの積雪を観測しました。

小国観測所の積雪量の平年値（2月・162センチメートル）と比較すると、今年度は1・5倍ほどの積雪で、厳冬、大雪といわれた「平成18年豪雪（246センチ）」よりも多い積雪となりました。

2月23日現在、町内で発生した雪による被害は、人的被害6件、住家被害0件、農業用ビニールハウスや小屋などの非住家被害11件（小国町豪雪対策本部調べ）となっています。

## 雪崩や落雪にご注意ください

3月に入り、降雪は落ち着いてくると考えられますが、気温が上昇することで、これまで積もった雪が緩み、雪崩や落雪の危険性が増してきます。山の稜線付近に付着した雪庇（せつび）の崩落や、斜面に雪割れが生じているなどの雪崩の前兆現象を見つけた場合は、斜面等に決して近づかず、町豪雪対策本部事務局（町民税務課）に連絡してください。また、引き続き、除雪中の事故や、落雪による石油ホームタンクの破損（油漏れ）にもご注意ください。

## 臨時議会

平成24年第2回小国町議会臨時会が、2月27日に開会されました。豪雪に伴う除排雪経費等などに関する一般会計補正予算が審議され、原案のとおり可決されました。

**除排雪経費等に  
1億570万円  
を追加**

町では、1月20日に臨時会を開催し、除排雪経費等を追加しましたが、それ以降も断続的な降雪が続いており、気象庁の季節予報においては、今後も引き続き低温と降雪が見込まれています。このことから、町民生活の安全を確保するため、除排雪経費等について1億570万円の追加を行うこととしました。

この結果、補正後の一般会計予算額は、64億3,140万円となりました。

## 伊藤千ヨさん（増岡） 厚生労働大臣表彰を受賞



伊藤千ヨさん（増岡）が、援護事業功労者として厚生労働大臣表彰を受賞しました。  
伊藤さんは、昭和32年から平成22年までの長年にわたり、小国町遺族会の婦人世話役として活躍されたほか、同会の評議員・理事も歴任されました。戦没者遺族などに対しての援護相談や指導に献身的に取り組みられてきた功績が評価されたものです。

## 平山雄二さん（幸町） 交通栄誉賞を受賞



平山雄二さん（幸町）が、警察庁長官及び全日本交通安全協会長の連名での表彰である交通栄誉賞「緑十字銀賞」を受賞し、2月7日、小国警察署で伝達表彰が行われました。  
元小国地区安全運転管理者協議会会長である平山さんは、長年にわたり交通安全活動に尽力されてきており、その功績が認められ、今回の受賞となりました。

## 西置賜地区保護司研修会が 開かれました

犯罪や非行からの立ち直りを地域で支える民間のボランティアで、法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員「保護司」の研修会が、2月14日、白い森交流センター「りふれ」で開かれました。  
これは、西置賜地区の保護司で組織した西置賜地区保護司会と山形保護観察所が主催したものです。



平成24年2月14日現在、次のかたがたが活動されています。

加藤美恵子氏（小国小坂町・分会長）、後藤秀一氏（松岡・副分会長）、小林新太郎氏（小国町）、馬場高子氏（小国小坂町）、原田憲一郎氏（越中里）、益田則雄氏（幸町）、佐藤修治氏（緑町）

## 6次産業化に向けて、研修成果を発表

### ～第7回農村六起小国塾～



第7回農村六起小国塾が、2月9日、白い森ショッピングセンターアスモで開かれました。

これは、町内の若手農家や民宿経営者などを対象に、農村における6次産業化にかかわる技術力の向上、知識の習得などを目的として平成23年5月から定期的で開催されてきた講座で、(株)総合市場研究所代表取締役渡辺均先生が講師を務められました。

最終回となる今回は、参加者それぞれが講座で学んだことを踏まえ考案した「自前力で林道整備と新たな着地型観光事業」、「おぐにエネルギーの地産地消」などの事業化プランの発表が行われたほか、その具体化に向けての関係機関との意見交換も行われ、小国の活性化に必要な取り組みについて活発な議論が展開されました。

## スキーって楽しいね

### ～ウインタースポーツ教室～

おぐにスポーツクラブ<sup>ゆい</sup>が主催したウインタースポーツ教室が、1月28日から2月18日までの期間、横根スキー場で開催され、町内の小学生40人が参加しました。

参加した子どもたちは、指導者のアドバイスを受けながら、一生懸命練習していました。教室開催時は、毎回のようには雪模様の天候でしたが、ゲレンデには、スキーを楽しむ子どもたちの元気な声が響き渡っていました。



## 飯豊連峰の保全について 理解を深めました

### ～第2回飯豊連峰保全シンポジウム～

飯豊連峰保全連絡会、環境省東北地方環境事務所が主催した「第2回飯豊連峰保全シンポジウム」が、2月18日、総合センターで開催されました。

当日は、同連絡会が飯豊連峰で実施している登山道の保全活動の報告や、山形大学農学部菊池俊一准教授の基調講演が行われました。また、飯豊連峰の保全にかかわる山岳団体、行政などの関係者によるパネルディスカッションも行われ、これからの保全活動のあり方について議論を深めました。

## 雪上で熱戦が繰り広げられました

～ウインタースポーツ大会～

平成23年度ウインタースポーツ大会が、2月26日、横根スキー場で開催されました。当日は、約700人の町民が参加し、雪上で熱戦を繰り広げました。

大会は、町内の地区体育協会（全11地区）の対抗戦で進められ、アルペンやジャンプなどのスキー競技や、かんじきリレーなどのレクリエーション種目の計7種目が行われました。

終始、雪模様の天候となりましたが、果敢にターンに挑むアルペンの選手や、かんじきをはいて一生懸命走る子どもたちに、各地区の陣地からは大きな声援が送られていました。

熱戦の末、沖庭地区が優勝、準優勝に北部地区、第3位に南部地区が入賞しました。



# 笑顔キラリ

Smile.11

佐藤 大輔さん

DATA

- さとう だいすけ
- 年齢 / 29歳
- 住まい / 舟渡
- 趣味 / ゴルフ、スキー

Sato  
Daisuke



国民宿舎梅花皮荘で板前をしています。イワナの刺身や山菜の天ぷらなど、小国ならではの食材を生かした料理が得意です。お客様からの「おいしかった」という一言がとてうれしいですし、いつもそう言ってもらえるよう、料理の腕を磨いていきたいと考えています。

また、舟渡地区に伝わる「舟渡の獅子踊り」に踊り手として参加しています。踊りは、地区の先輩から指導を受けて覚えました。自分が育った地域で伝承されてきた文化を大切にして、先輩に伝えていきたいと思っています。

# お知らせコーナー

## お知らせ

### 町営住宅入居者募集

《あけぼの団地》

3DK 1戸(2階)

▽家賃 所得と家族構成により決定します。

▽対象 所得制限がありますので、お問合せください。

《岩井沢勤労者住宅》

3DK 2戸(3階・1階)

▽家賃 42,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 3月9日(金)

■入居時期 3月下旬以降

■問合せ先 地域整備課建設管理室へ

### 県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 2戸

▽家賃 所得により決定

▽対象 同居親族がいるかた(所得制限あり)

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 3月9日(金)

■入居時期 4月下旬

■問合せ先 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所(0238-24-2332)へ

### 自衛官募集

■募集種目と応募資格

①自衛隊幹部候補生(一般・技術) 22歳以上26歳未満のかた(大卒見込含む)

②医科・歯科幹部自衛官

医師免許又は歯科医師免許取得者

③予備自衛官補(一般) 18歳以上34歳未満のかた

④予備自衛官補(技術) 要問い合わせ

■受付期限 ①及び②は平成24年4月27日(金)まで、③及び④は平成24年4月4日(水)まで

■問合せ先 自衛隊米沢地域事務所(0238-23-0011)へ

### 「増えつづける動物達」

民俗学講演会

■日時

3月6日(火)午後6時〜午後7時30分

■場所

アスモ3階多目的ホール

■内容 鳥海隼夫氏(日本鳥類保護連盟専門委員、著書「カモシカの民俗誌」)の講演

■問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊事務局(050-7507-5955)へ

国民健康保険に加入している

70歳から74歳のかたへ

医療機関での窓口負担が  
1割に据え置かれます

国民健康保険に加入している70歳から74歳までのかたで、医療機関での窓口負担が1割のかたは、平成24年4月から2割に引き上げられる予定でしたが、国の特例措置により、平成24年4月から平成25年5月までは引き続き1割負担に据え置かれることになりました。

該当するかたには、3月末までに新しい高齢者受給者証を郵送します。

■問合せ先 町民税務課国保医療担当へ

### 町内の空間放射線量をお知らせします。

～ いずれの場所も人体に対して影響のない水準です ～

■2月6日(月)・7日(火)の空間放射線量

測定場所	測定値(μSv/h)
北部小中学校 駐車場	0.06
沖庭小学校 グラウンド	0.04
旧小玉川小中学校 駐車場	0.05
旧玉川小中学校 駐車場	0.04
小国小学校 駐車場	0.09
小国中学校 駐車場	0.05
叶水小中学校 グラウンド	0.02
旧伊佐領小学校 駐車場	0.05
白沼小中学校 駐車場	0.04

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

# 次回の町長と語る日は4月以降を予定しています。

皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238 (62) 2611

## 4月の子育てカレンダー

■問合先 健康福祉課または子育て支援センターへ

◆対象となるかた  
 ■あそびの広場、なかよし広場  
 入園前のお子さんと保護者

■赤ちゃん広場

生後4カ月～15カ月のお子さんと保護者

■4カ月児健診

平成23年12月生まれ

■1歳児健診

平成23年4月生まれ

■3歳児健診

平成20年8月～10月生まれ

■両親学級

平成24年1月～3月に母子健康手帳の交付を受けたかた

会場・集合場所  
 ◆健康管理センター  
 ◇おぐに保育園

訂正とおわび

先月の子育てカレンダーで「こども愛ランド」の開催日を3月17日としていましたが、3月10日の誤りでした。訂正しておわびします。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 ◇なかよし広場 10:00～11:30	6	7
8	9	10 ◆あそびの広場 10:00～11:30	11	12 ◇なかよし広場 10:00～11:30	13 ◆3歳児健診 12:30～13:00	14 ◇なかよし広場 (土曜開放日) 10:00～11:30
15	16	17 ◆あそびの広場 10:00～11:30	18	19 ◇なかよし広場 10:00～11:30	20	21
22	23	24 ◆あそびの広場 10:00～11:30	25 ◆両親学級 9:30～12:30	26 ◇なかよし広場 10:00～11:30 ◇赤ちゃん広場 13:00～15:30	27 ◆4カ月児健診 13:10～13:20 ◆1歳児健診 13:00～13:10	28
29 昭和の日	30 振替休日	31 ◆あそびの広場 10:00～11:30	1	2	3	4

### 求人情報

右の表は、2月24日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町を主な就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますのでご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井(Tel.84-8609)へお問い合わせください。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
置賜教育事務所	非常勤講師(英語)	1人	8:30～15:15
北伸自動車工業(株)	自動車修理工【急募】	1人	8:20～17:20
(有)東部開発	農作業全般、他	2人	8:00～17:00
(株)横川建設	4tユニック運転手	2人	8:00～17:00
小国町森林組合	【臨時】直売所販売・作業員	1人	8:00～17:00 9:30～18:30
社会福祉法人 小国福祉会	介護員	1人	8:30～17:30
	介護員	6人	9:15～13:15 14:00～18:00
置賜教育事務所	常勤講師(英語)	1人	8:20～16:50
(有)蔵王ストア	レジ係	1人	8:45～18:00
大河内産業(有)	砂利プラント運転士、一般事務員、ダンプ・重機運転手他	8人	8:00～17:00
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15～17:00
医療法人社団緑愛会 天の	柔道整復師兼介護職、マッサージ師兼介護職	2人	8:30～17:30
(株)金十商店	レジ業務・生鮮作業業務【急募】	2人	9:30～13:00 16:00～19:30
小国町役場	交通安全専門指導員	1人	8:30～17:15
	居宅介護支援専門員	1人	8:30～17:00
小国町立病院	看護師	1人	8:30～17:00
第一ホール小国店(有)コンズカンパニー	ホールスタッフ【急募】	1人	8:30～16:30 8:30～17:00 17:00～23:00

### 今月の納税 2012.3

3月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 3月26日(月) 水道料
- 4月2日(月) 国民健康保険税(9期)、後期高齢者保険料(9期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先 町民税務課税政管理室へ

## 後期高齢者医療保険料の 保険料率が変わります

後期高齢者医療制度の保険料率は、医療費などの推計を基に、2年ごとに見直しをおこなっています。平成24・25年度の保険料率は、平成22・23年度と比べると医療費等の増加が見込まれるため、次のとおり改定されることになりました。

### ■保険料率の改訂内容

	平成22・23年度	平成24・25年度
所得割率※1	7.12%	7.52%
均等割額※2	3万8,400円	3万9,500円
賦課限度額※3	50万円	55万円

※1 所得割率：所得に応じて負担していただく分を算定する際の率  
 ※2 均等割額：加入者が公平に負担していただく分  
 ※3 賦課限度額：年間保険料の最高額

保険料率の詳細は、7月に保険料額決定通知書とともに送付されるリーフレットに記載されますのでご確認ください。

■問合せ先 町民税務課国保医療担当へ

## くりえいと工房

### — 再生品の提供について —

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、循環型社会形成に資するため、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、期間を定めて展示及び提供を行っています。置賜在住のかたであればどなたでも応募できますので、是非くりえいと工房にお越しください。

■問合せ先 千代田クリーンセンター施設 第2係(0238-57-4004)へ

## 各種相談

### 年金相談

- 日時 3月21日(水)  
10:30~14:30
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構  
米沢年金事務所職員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

### 人権相談

- 日時 3月22日(木)  
10:00~12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

### 消費者相談会

- 日時 3月24日(土)  
10:00~15:00
- 場所 役場雇用相談室
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

### 多重債務無料相談会

- 日時 3月15日(木)  
10:00~17:00
- 場所 山形財務事務所  
(山形市緑町2-15-3)
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 東北財務局金融監督第三課  
(022-266-5703) へ

## 総合センター図書室から

### ●新着図書

- ◆母さんのコロッケ 喜多川 泰
- ◆慈雨の音 流転の海 第六部 宮本 輝
- ◆私が弁護士になるまで 菊間 千乃
- ◆本多の狐(大活字) 羽太 雄平
- ◆生まれ変わりの村 森田 健

■休館日……毎週月曜・祝日

- ◆能のちから 観世鏡之丞
- ◆パッチワークのお気に入りパターン163 福田 晋
- ◆100円からできる国際協力 全3巻
- ◆写真の撮り方きほんBOOK かくたみほ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) ☎62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室 ☎62-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●会計室 ☎62-2406
- 農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●建設管理室・水道管理室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

忘れずに申請  
してください

## 子育て支援医療の 取り扱いが変わります

小国町では、町内に住所のある中学生以下のお子さんの医療費無料化を実施しています。これまで、医療機関等を受診した際に自己負担分をお支払いいただき、領収証を持参して申請していただくことで医療費を助成していましたが、平成24年4月からは、山形県内の医療機関等を受診した場合、受診時に『子育て支援医療証』を提示することで、医療機関等の窓口で支払いの必要がなくなります。

このように取り扱いを変更するため、これまでの子育て支援医療証は使用できなくなり、新しく『子育て支援医療証』を発行することになりました。対象となるかたには、申請書を郵送いたしますので、同封の受付期間内に町民税務課で申請手続きを行ってください。

■対象者 医療保険に加入している未就学児、小学生、中学生

### ■対象経費

- 山形県内の医療機関等を受診した際の医療費（保険適用分）
- 院外処方せんにより山形県内の調剤薬局で処方された薬代（保険適用分）

### ■申請時に必要なもの

- 申請書（必要事項を記入のこと） ●お子さんの保険証 ●印かん

### ■注意事項

- 県外の医療機関では「子育て支援医療証」は使用できませんので、助成を受けるためには、これまでどおり領収証を持参いただき、申請していただく必要があります。**

■申請・問合せ先 町民税務課国保医療担当へ

## 平成24年度より 0歳から2歳児のいるご家庭に指定ごみ袋を配布します

置賜3市5町で構成する置賜広域行政事務組合では、ごみ処理等の共通する事務を行っています。平成24年度から、置賜3市5町と置賜広域行政事務組合が一体となって、新たに「子育て支援事業」を行うことになりました。

この事業では、0歳から2歳までの紙おむつを使うお子さんのいる家庭に、紙おむつの処理の支援として、引換券方式で一人あたり年間30枚の指定可燃ごみ袋（大）を配布します。

### 対象世帯

置賜地域にお住まいで0歳から2歳までのお子さんがある家庭

### 引換券の配布

新生児（H24.4.2生～）	出生届出時
1歳児（H23.4.2～H24.4.1生）	子育て支援医療証配布時
2歳児（H22.4.2～H23.4.1生）	〃
置賜地域外からの転入	転入届出時

### 引換方法

引換券配布日より3カ月以内に子育て支援事業登録店\*にて引き換えしてください。

\*登録店リストは、引換券配布時にお渡します。

■問合せ先 置賜広域行政事務組合総務課施設係（0238-23-3246）  
または町民税務課町民生活担当へ

シリーズ23

伝えよう! 広めよう!

# おぐにの食文化

Oguni Slow Food Recipes



## 水あめ

### 材料

- 糍 (こうじ) ..... 1升
- もち米..... 2~3合

### 作り方

- ① もち米で、おかゆ(3分がゆ状)を作る。
- ② ①を30度から35度程度に冷まして糍を入れ、温度を保ちながら一晩おく。
- ③ ②をこして、汁を火にかける。
- ④ 弱火でゆっくりかきまぜながら煮詰める。
- ⑤ 冷まして、はしに絡めて食べる。

### 伝承者 舟山 秀子さん (足野水)

私が子どものころ、冬になると大人たちは家の中で蓑(みの)や箆(むしろ)を編んでいました。その作業のかたわらで、「水あめ」の作り方を教えてもらいながら、自分で作って食べていました。そんな時代を懐かしく思います。



## 戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

舟	渡	川	上	蓮十	(秀宏)	弘美	
あ	け	ぼ	の	齋藤	旬惺	(裕理)	貴恵
岩	井	沢	高	野	杏	(寛香)	人子
兵	庫	館	平	田	蒼真	(誠弘)	美子
玉	川	石	山	心	晴	(達聡)	矢子

結婚おめでとうございます。

(湯)	花	塚	原	修	
(岩)	井	沢	伊	藤	陽子
(兵)	庫	館	渡	部	和哉
(太)	鼓	沢	安	部	真理

おぐやみ申し上げます。

古	田	木	村	福	子	(80)
栃	倉	高	野	静	江	(86)
小国	小坂町	和	田	元		(94)
朝	篠	伊	藤	源	四郎	(93)
片	貝	佐	藤	鐵	男	(85)
岩	井	沢	塚	原	惠	一(84)
小	玉	川	舟	山	金之助	(84)
小	沼	沢	齋	藤	志ん	さん(94)
岩	井	沢	鈴	木	まさ	さ(90)
松	岡	加	藤	チ	ヨ	(100)
朝	篠	伊	藤	鐵	五郎	(86)
小	国	町	見	川	憲	一(77)
大	滝	佐	藤	や	わ	(93)
岩	井	沢	遠	藤	喜一	郎(93)
小国	小坂町	野	沢	ヨ	ネ	(89)
田	沢	頭	伊	藤	フ	デ(94)
小国	小坂町		東	久	四郎	(79)
岩	井	沢	高	橋	ゆ	ゑ(93)

## 人口のうごき

人口 男...4,297人(-8)  
 女...4,560人(-11)  
 計...8,857人(-19)

世帯数 3,227世帯(-5)

平成24年1月31日現在

## 編集後記

表紙の「おぐにの冬遊び」の取材で、私も子どもたちやスタッフの皆さんと一緒に、神明山公園に登ってみました。「イタヤカエデ」の樹液で作った「生キャラメル」を頬張りながら、雪に覆われた小国の町並みを見下ろす...雪が舞うあいにくの天候でしたが、なんだか爽快な気分になりました。冬のトレッキングも楽しいものです。

(加藤)